

整備内容一覧

項目	主な整備内容		面積
新中央棟	1階	栄養科	490
		糖尿病センター	220
	2階	手術室・中央材料室	1,315
		ME室(人工呼吸装置等)	100
	3階	医局	450
		診療情報室	140
		用度倉庫	251
	4階	講堂	415
		機械室他	340
			7,115
手術・厨房等備品	手術・厨房設備等購入		
解体・外構工事・その他	院内保育園(別棟)		300
	給食棟等解体		

◇医療の充実

1. 糖尿病センター … 地域の糖尿病医療の拠点整備

・昭和35年に糖尿病外来を創設されて以来51年の歴史があり、東信地域唯一の日本糖尿病学会認定教育施設です。医師・医療スタッフ・患者のネットワークの中心となり、血糖コントロールのみならず、眼や腎臓、神経の合併症、さらに心筋梗塞、脳梗塞など種々の糖尿病合併症の発生防止、進展防止に取り組むために、糖尿病外来をさらに充実・発展させた糖尿病センターを開設し、糖尿病医療の拠点をめざします。

2. 手術室・ME室 … 日々進化する医療技術に対応

・増加する手術件数と進化する技術に対応できる医療機器と設備により、快適な手術環境整備と最新の医療技術習得を求める若い医師の確保をめざします。また、人工呼吸装置・人工透析装置などの生命維持管理機器の一元管理を行い、医療現場の支援を行います。

◇医師の負担軽減と確保

3. 医局と保育所の整備 … 働きやすい環境の整備

・医師が働きやすい環境の整備は医師確保に重要です。1人当たりのスペースを1.3㎡/人(50人) ⇒ 2.9㎡/人(60人)に拡大し、パーテーションで仕切り、医師が働きやすい環境の整備を進めます。また、女性医師の確保も視野に入れ、女性の働きやすい環境を整えるため、24時間対応の院内保育園を整備します。

4. ドクターズクラーク室 … 勤務医の負担軽減

・平成20年診療報酬改定で、医師の負担軽減のための医師事務作業補助者(ドクターズクラーク)の配置が評価対象となりました。現在、7名を配置し、診断書などの文書作成、処方せん の作成、検査の予約などを医師の指示のもとで行っています。医師の指示に対し迅速、適切に対応するため、クラーク室を医局隣りに整備します。

◇安心して、安全な食の提供

5. ニュークックチル方式の導入 … 衛生管理の徹底

・これまでの病院食の問題点を解決するため、ニュークックチル方式を導入します。
「コストダウン」…チルド配膳や計画的、集中的調理により労働力の投下を計画的に行います。
「食品安全」…配膳までチルド帯(3〜3度)で保管し、食中毒の原因である細菌の繁殖を抑えます。
「おいしさ」…調理後に冷却し再加熱することで味が染み込み、素材の味を活かした味付けになります。

◇医療材料等のコスト縮減

6. 院内倉庫 … 物品管理システム(SPD)を導入

・SPD(物品管理システム)を導入し、診療科目別、患者別、疾病別にそれぞれ使用した医療物品の集計や材料原価の計算、保険請求の漏れの防止により、病院経営の効率化を図ります。

◇研修機能の充実

7. 講堂整備 … 地域と病院を結ぶ

・学会、健康ネットワーク21等の講演会、患者会、佐久大学生の実習、院内の各種講演会、院内教育委員会、各種委員会、各種会議等に対応するため、250名収容可能な講堂を整備します。院内に整備することにより、患者と家族と一緒に参加することができるなど、地域と病院を結ぶ場所としても活用が図られます。

全体工程表

